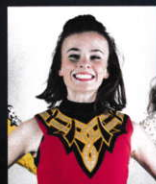


怒涛のタップダンス、異国情緒あふれる音楽と煌びやかな衣装。
世界チャンピオングループが贈る至高のエンタテインメント!

トリニティ・アイリッシュ・ダンス

TRINITY IRISH DANCE



新・プリンシパル・ダンサー:
アリー・ダウティ
(2014年世界選手権チャンピオン)

生演奏で楽しめる
本格的なアイリッシュ・ミュージック!



2018.
東京公演 6/23(土) 13:00開演 17:30開演 東急シアターオーブ (2公演)

横浜公演 6/24(日) 14:00開演 神奈川県民ホール

チケット(全席指定) S席 10,500円 A席 8,500円 B席 6,500円(税込)

芸術監督:マーク・ハワード
演奏:ジェイク・ジェームス(フィドル、バウロン)
ブレンダン・オシェイ(ギター、ヴォーカル)
クリス・クルウィン(ベース)ほか

※開場は開演の30分前。
※未就学児のご入場はできません。
※やむを得ない事情により出演者が変更となる場合があります。

チケット取扱 プレイガイド 2018年1月19日(金)10:00~ 一般発売開始

テンポプリモ 03-3524-1221 www.tempoprimo.co.jp
イープラス eplus.jp/ <PC&携帯>
ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応) l-tike.com/
Lコード:34242(東京公演)/34251(横浜公演)<PC&携帯>
チケットぴあ 0570-02-9999 http://pia.jp/
Pコード:483-773(東京公演)/483-747(横浜公演)
日経ショップ 03-6256-7682
テレビ東京 事業部 http://www.tv-tokyo.co.jp/event/
セブンチケット http://7ticket.jp/

【東京公演のみ】
Bunkamuraチケットセンター 03-3477-9999 (オペレーター対応 10:00-17:30)
オンラインチケットMY Bunkamura http://my.bunkamura.co.jp
(PC・スマホ共通 / 座席選択可能 / 登録・システム利用料無料)
東急シアターオーブチケットカウンター (渋谷ヒカリエ2階 11:00-19:00)
Bunkamuraチケットカウンター (Bunkamura1階 10:00-19:00)
【横浜公演のみ】
チケットかながわ 0570-015-415
神奈川芸術協会 045-453-5080 www.kanagawa-geikyoo.com

最新情報は... 公式ウェブサイト
www.trinity-japantour.com

トリニティ・アイリッシュ・ダンス 検索

主催:日本経済新聞社 / テレビ東京
企画制作:テンポプリモ
協力:神奈川芸術協会(横浜公演)
後援:アイルランド大使館、
アイリッシュ・ネットワーク・ジャパン

トム・ハンクス等ハリウッド・スターの振付を務める大物演出家 アイリッシュ・ダンスを芸術に昇華させるマーク・ハウードの世界!



1990年、世界中の様々な舞踏・音楽の要素を集結させた「プログレッシブ・アイリッシュ・ダンス」の思想を元にトリニティ・アイリッシュ・ダンス・カンパニーを立ち上げてから28年。それまで競技会が主な発表の場であったアイリッシュ・ダンスが、エンタテインメントの要素を伴う舞台芸術と発展し、後のリバーダンスやロード・オブ・ザ・ダンスの出現に繋がった。米テレビ界最高の栄誉とされるエミー賞を2度受賞し、自らが主宰するアカデミーからは毎年のように世界選手権で優勝するダンサーを輩出するなど、アイリッシュ・ダンス界を最前線で牽引してきたのがまさにマーク・ハウードその人なのだ。

2004年以来7度目となる今回の日本ツアーでは、2014年の世界チャンピオン、アリー・ダウティが女性としては初のプリンシパル・ダンサーとして参加。マーク・ハウードの新作も加わるなど話題豊富。アイリッシュ・アメリカンの聖地シカゴから、今年もタップの嵐が吹き荒れる!

【プログラム】 伝統的なダンス。息もつかせぬ超絶技巧の連続。芸術監督マーク・ハウードの新作も発表!!



静と動のコントラストが見事なトリニティの代表作。

ジョニー



ボディパーカッションと激しいタップの迫力を体感!

カーテンイベント



次々と千変万化な、タップを魅せる華麗なるステージ。

ソールズ



高速回転する度にキラキラ輝くキルト・スカートに注目!

ステップ・アバウト



スピード感あふれる軽快な群舞。

夜明け2



世界チャンピオンの超絶足技に驚嘆!

ブッシュ

Voices 推薦の声

生命力が溢れて、人を元気にさせるステージは、沢山の方とにかく見てほしいです!

—鈴木明子(プロフィギュアスケーター)

アイリッシュ・ダンスのルーツがこの姿。

—宮本亜門(演出家)

舞台から伝わる、信じられないほどの情熱。

—ロン・ハウード(映画監督)

伝説がベールを脱いだ!

—アイリッシュ・ダンス・マガジン

もう素晴らしかったの一言に尽きます!

—デヴィ・スカルノ(タレント)

リバーダンス、ロード・オブ・ザ・ダンスは巨万の富を生み出したが、そのお手本はマーク・ハウードのトリニティなのだ。

—ミルウォーキー・ジャーナル・センティネル

空飛ぶ脚

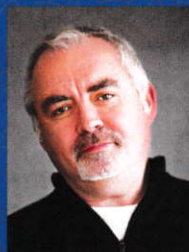
—ニューヨーク・タイムズ

トリニティ・アイリッシュ・ダンス Trinity Irish Dance

1979年トリニティ・アカデミー・オブ・アイリッシュ・ダンスとしてシカゴに創設。主宰は、著名なダンサーで振付師、舞台演出家のマーク・ハウードであった。1987年アイルランドで行われた世界アイリッシュ・ダンス・コンクールでアメリカの団体として初めて優勝したのを始め、現在まで実に36度世界タイトルを獲得。1990年世界のさまざまな舞踏や音楽の要素を取り入れたプログレッシブ・アイリッシュ・ダンスを発信させるため、ソロ世界チャンピオンを含む18歳から26歳のダンサー22名、ミュージシャン、スタッフを現名称で独立設置、ワシントンD.C.のケネディ・センター、ニューヨークのジョイス・シアター、シカゴのオーディトリウム・シアター等で公演を行ってセンセーションを巻き起こす。以来、全米、欧州のツアーは常にソールド・アウトを記録、日本の鼓童、ボストン・ポップス等とも共演を行っている。



マーク・ハウード(芸術監督) Mark Howard, Artistic Director



アイルランド人の両親のもと、イングランドのヨークシャーに生まれる。幼少時シカゴに移住、9歳からデネヒー・アイリッシュ・ダンス・スクールに学ぶ。北米選手権優勝の後、17歳でトリニティ・アカデミー・オブ・アイリッシュ・ダンスを設立、数々の世界大会優勝を果たす。1991年「100名のアイリッシュ・アメリカン」に選出、1993年にはエミー賞を獲得。現在、トリニティの芸術監督を務めるかわら、『バックドラフト』『アメリカン・ビューティ』『ロード・トゥ・パーディション』等多くの映画、TV、舞台作品で振付を手掛ける。トム・ハンクス、ケート・ハドソン等大スターのプライベート・コーチとしても有名。